

# ERIC 通信 第19号

2005 年 4 月 15 日発行

## ESD ファシリテーターズ・カレッジ 2年目の挑戦

事務局長 角田 尚子

昨年度、国際理解、環境、人権、対立、平和、開発、TEST の 7 講座で実施した ESD ファシリテーターズ・カレッジは、今年二年目を迎えます。「より高い質の教育」を提供するための教育的指導者＝個人的組織的社会的学習促進者としての ESD ファシリテーターの育成には、参加型学習手法のスキルのトレーニングとその理論的背景についての教育・学習の両輪が必要であるということは、すでに「ERIC 鍵となる方針」にも明らかにして来ました。(レッスンバンク 14-6 参照)

今年は、「では二年間のコースの構成はどのようなものでありえるのか」という課題に挑戦したいと思います。ひとつは ERIC がこれまで学んで来た参加型学習手法を活用した基本テキストから学ぶ「アクティビティ・コース」の追加です。もうひとつは、2000 年度来実施してきている「実践講座」に、外部からの評価と点検の視点を取り入れることです。ESD ファシリテーターズの育成がいろいろな場で広がる基盤整備を進めたいものです。

すでに、ERIC のファシリテーターにグローバル教育の手ほどきをしてくれたロバート・フリーマン氏は鬼籍に入り、その記憶を共有している人は少なくなりました。先人が積み上げてくれたものをいかにすばやく学び、次の世代がそこにさらなる学びを積み上げて行くことができるか、昨年度「半構造的な学び合い」として取り組んで来たことを、今年度は基本テキストを活用しながら行いたいと思います。

もちろん、ERIC の講座はすべて参加型。テキストをベースにとっても決して「受け身」ではありません。ぜひ、御参加ください。

### 2005 年度 基本テキスト群

- 1) ワールド・スタディーズ
- 2) 地球のみかた
- 3) フード・ファースト・カリキュラム
- 4) PLT 木と学ぼう
- 5) 環境教育指導者育成マニュアル
- 6) 人権教育ファシリテーター・ハンドブック 3部作
- 7) 対立から学ぼう
- 8) わたし、あなたそしてみんな
- 9) 未来を学ぼう
- 10) 開発のための教育(ユニセフ)

# ERIC「ファシリテーター養成講座」2000-2004の5年間のふりかえる

ERICが1995年から開催しているファシリテーター養成講座は、今年で10年になります。2005年度からは、ファシリテーターの資質をもった指導者を養成するための2年間コース構築に向けて、いよいよ新たなステップです。ここでは、2000年～2004年の5年間のERICファシリテーター養成講座(at ERIC講座)をふりかえってみましょう。

## ■ ERIC主催「ファシリテーター養成講座」の変遷

講座の柱	ERIC独自の内容づくり、海外からの学びの発展 04年より「ESDファシリテーターズ・カレッジ」とする		海外からの学び
	2004 ←	2000 ←	1995-99
講座の柱	この5年間での 広がり 深まり	主な講座の柱 (6-7回)	第一期の概要
国際理解	「わたしから始まる国際理解」講座から「国際理解教育」講座：より実践的な国際理解へ。	○ 国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際理解教育基礎コース」として年間4回の連続セミナーを開催。</li> <li>・'99年にファシリテーターをスキルの類型化。</li> <li>・「国際理解教育推進団体」から「指導者養成団体」としての自己認識を变革。</li> <li>・95-99年度までの合計受講者230名</li> </ul>
環境	PLTの12時間コースを発展させ、18時間でPLT XPRA(地域調査)の実施、フィールド・プログラムづくりの実施なども。	○ 環境	
対立の扱い方 平和	「対立から学ぼう10の概念」に加え、「紛争の解決・転換」の方法論を学ぶ「平和」を開講	○対立 ○平和'04	
人権	『いっしょに考えて!人権』&『いっしょにすすめよう人権!』で包括的な人権教育の推進を目指す。	○ 人権	
開発・地域	「海外派遣ボランティア育成」から、参加型エンパワーメント調査を学ぶ「プロセスファシリテーター養成講座」へ。	○ Meet ザ・ワールド~'01 持続可能性'03~	
教育力向上	指導者(Teacher)の教育力向上講座から、「指導者を養成する指導者(Trainer)」の育成をも視野を入れた講座へ。	○ 教育力向上 TEST	

## ■「ファシリテーター養成講座 at ERIC」2000-2004年の5年間のふりかえり

- ◇ 成果
  - ・実施講座数31回、総時間数468時間(全234セッション)。
  - ・受講者(修了者)数331名。
  - ・講座の実施から生まれた教材数およそ50点。
- ◇ 成長
  - ・年間6-7回の主催講座を確実に実施していく力が備わった。
  - ・ERIC独自のコンテンツを開発していく力がついた。
  - ・組織に、講座の実施、コンテンツ開発のためのシステムが構築できた。
- ◇ 効果
  - ・学校教育や社会教育に、講座とテキスト教材をもって参加型による教育を広め、「参加の文化」を促進した。
  - ・6本の柱で国際理解教育の全体像を提示し、2005年からの「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」につなげることができた。
  - ・講座の参加者ととも「指導者の課題」に加えて、「指導者養成の課題」も検討できるようになった。
- ◇ 効率
  - ・Record(記録)→Report(共有)→Review(評価)→Resource(蓄積・活用)の4つのRのシステムが確立し、講座開催の効率は向上した。
  - ・多様なファシリテーターの関わりによって、東京以外の地域でも講座が開催しやすくなった。
  - ・ホームページやメールマガジン、メーリングリスト、ブログなどのメディアの活用を開始し、情報共有や検討が容易になった。

2000 年から 2004 年までの取り組みをふりかえると、ERIC 自らがこれまで学んできたことや研修参加者の方々と検討してきたことをベースに、ERIC オリジナルの内容をつくりだす形を整えた時期だと言えます。そして、国際理解、人権、環境、対立の扱い方、開発など、海外テキストの翻訳から学んだ内容を発展させ、構造化し、国際理解教育のカリキュラム全体像として構築することができました。また、この 5 年間で ERIC の主催講座は、ただ単に各テーマをテキストどおり行うのではなく、つねに新たなチャレンジに取り組み、実践的に学びや発展を追求するという ERIC の理念が具現化する場になってきたのだと思います。私が ERIC の主催講座に関わるようになったのは 2002 年からです。ERIC の各講座は、毎年同じテキストや方法論を基盤としていても、いつも違う内容で、新たな発見がある、それは私自身が今でも驚き、楽しみなことの一つです。その時々リアルな課題を参加型で話し合う、すべてつくり込まれていない内容だから、つねに多様な解釈や発見が生まれる。さまざまなテーマ・課題から多角的に、互いの経験と協力によって学びあうことで、主体的な学びを楽しくさせる、そんなカリキュラムだと思います。

しかし一方で、もっと基本的なことから学びたい、1 回の参加ではよくわからないという参加者の声もしばしば聞かれます。また、翻訳をしなくなったことで、ERIC 組織としては他から学び得るペースやその力の育成が落ちてきたという課題も見えてきました。

今年度からは、これらの課題に対応していくために、「ESD ファシリテーターズ・カレッジ」推進事業は、ベーシックなアクティビティを中心に学ぶコースとチャレンジに実践的に取り組むコースの 2 つの柱を設定し、また調査・研究や提言にも力を入れていく計画です。これからはじまるファシリテーター養成 at ERIC の第三期を、そして、持続可能な未来のための教育を、みなさんとともにやっていきたいと願っています。

### ERIC の主催講座に参加して・・

カレッジ講座受講者 八代・多恵子

もう何年も前になりますが、わたしが初めて ERIC の講座に参加した当時、講座の内容はまったく理解できませんでした・・・即ち、ERIC の講座では素人の位置にいたと思います（素人ってなに！）。ついて行くだけでせいっぱいだったにも関わらず、ただ最後に感想として「よかった！」という評価になったのです。わかったつもりでしかなかったように思います（初めての参加者のみなさんはそういう感想をもたれる方も多いのではないのでしょうか）。よかったのだけれど、自分の中の根本的な問題解決には至りませんでした。今からにして思えば ERIC が掲げ目指しているものと、わたしの目指すもの・目の前の問題解決とに差があったように思います。

それから 何年かの間をおき、再び ERIC の講座に参加し始めました。しかし、今度は違いました。講座の内容が「わかる」というよりも、「学び取る」という感覚になっていたのです。以前とは違った、自分自身の姿勢の変化でした。その変化によって、ERIC の講座から見えてくるもの、得られることがずいぶん変わったと思います。自分の中での問題意識、目的を明確にもつことで ERIC での受講のあり方が変わってくるのだと考えます。

実は、私は大阪からの参加となるので、3 日間の講座だとざっと約 8 万円～10 万円仕事になります・・・だからと言って経費の問題ではありません。ERIC には、初めての参加者にとってわかりやすい内容の提供だけでなく、そうした参加者自身の問題や目的意識に対して魅力的で意義のある講座を、これからも提供して下さることを期待しています。

### 沖縄でのカレッジ講座 その後・・

沖縄講座担当 ERIC ファシリテーター 牧 由希子

ERIC 通信 18 号でご紹介した「カレッジ講座 in 沖縄 with ERIC (沖縄講座)」は昨年 11 月無事終了し、4 ヶ月経った今、当時の参加者の間にかすかな動きがはじめています。

参加者 (19 名) が 3 日間、実に 23 時間という長く濃密な時を森の中の博物館で共に過ごし、よく学びよく笑いました。講座は、村内参加者と村外参加者が協力して、PRA (主体的参加地域評価法) を学びつつ、沖縄東村の地域活性化のために、参加型調査を行うといったものでした。

その後、参加者の中から米軍ヘリポート建設反対座り込みのために本土から戻って来た者、那覇で NPO を立ち上げた者、名護で生涯学習センター立ち上げに関わる者などの村外参加者が先日東村を訪れ、そんな彼らと村内参加者数名が我が家に集まり再会を果たしました。心から充実した時を過ごせた者たちは、自然とつながりを持つとうとするものなんですね。11 月の講座の成果は村や議会の広報でも紹介されており、「参加型なんて初めて！」なんて言っていた担い手たちが、その後もいきいきと地域で活躍し、地域活性化のための組織体制合理化を図ろうと、それをとりまとめるコーディネーターも参加者の中から生まれました。地域からもますます彼らに期待がかけられ、今後の連携が楽しみです。

※沖縄講座の報告は、レッスンバンク 16 に収録しています。

## ESD ファシリテーターズ・カレッジ推進事業部 新スタッフ紹介

2005 年度より「プログラム提供部」から「ESD ファシリテーターズ・カレッジ推進事業部」と、とても長〜い名称に変更されました。それに伴い、内容、スタッフも一新し、スタッフは1名から2名体制になり、パワーアップされました。今回はそれぞれを他已紹介したいと思います！

### ◎ 佐藤 玲子(受託研修担当)

佐藤さんは、いつも一生懸命、だけどどこかいつもずれている、そんな愛すべき天使のような人。佐藤さんパワーで、ERICはもっともっとチャームングになるに違いない！？

- \* 出身: 栃木県
- \* 専門分野: 教育、音楽
- \* ERIC との出会い: 3 年ほど前の主催研修に参加したのが出会い。開発教育からESD に興味を持ち、それがなんだか良く分からないまま応募してしまいました。
- \* 抱負: 愛のあるファシリテーターになるため、誠心誠意、全身全霊で日々精進！！

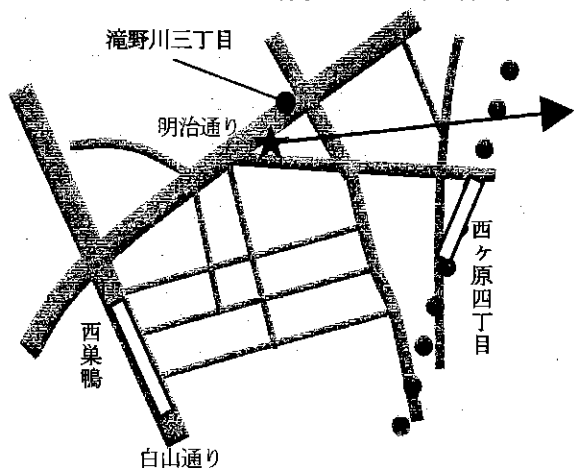
### ◎ 佐野 淳也(主催研修担当)

熱〜い人ですが自然を愛するやさしい人。「ESD ってなんじゃらほい？」の佐藤にとっては、とっても頼りになる人です！

- \* 出身: 徳島県
- \* 専門分野: ESD、参加型開発・地域づくり
- \* ERIC との出会い: 今年 2 月のカレッジ講座(ESD)で初めてERICの研修に参加。そのまま勢いでスタッフ募集に応募！
- \* 抱負: ERICの考え方をもっともっと世の中に広げていきたい！ そのためにも、今年日本全国の地域との連携を強めていきたいです。

ESD ファシリテーターズ・カレッジ推進事業部では、主催研修(年間 12 本)の他、受託研修、オープンゼミ等を行っていきます。第 1 回目「アクティビティ・コース」の「ワールド・スタディーズ」についての事前勉強会(オープンゼミ)を下記の日程で行います。今回はワールド・スタディーズの翻訳に関わっていた関典子さん、梅村松秀さんと一緒に学びます。参加希望の方は [eric-net@try-net.or.jp](mailto:eric-net@try-net.or.jp) までご連絡ください。お待ちしております！

- 日時 : (1 回目) 4 月 22 日 18:00~ (2 回目) 5 月 7 日 14:00~
- 場所 : ERIC 事務所
- 参加費 : 1000 円(資料費、お茶お菓子代を含みます)



### ERIC (特活) 国際理解教育センター

〒 114-0023 東京都北区滝野川 1-93-5 コスモ西巣鴨 105  
tel: 03-5907-6054 (研修系) 03-5907-6064 (テキスト系)  
fax: 03-5907-6095  
ホームページ <http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>  
Eメール [eric-net@try-net.or.jp](mailto:eric-net@try-net.or.jp)  
ブログ <http://ericweblog.exblog.jp/>

#### 交通

- ・都営三田線「西巣鴨」駅より徒歩 3 分  
A2 出口より右方向へ、コンビニエンスストアの角を曲がって 150m
- ・都電荒川線「西ヶ原四丁目」駅より徒歩 5 分
- ・池袋駅から都営バス 西新井駅・王子駅行きで 15 分、「滝野川三丁目」バス停下車徒歩 3 分